

注意 感染性胃腸炎

新潟県内でも、ノロウイルスによると思われる感染性胃腸炎が多発しています。感染防止に努め、健康管理には十分注意してください。

しっかり予防しよう！！

- ・石けんを使った手洗い、うがいをする
- ・休み時間に換気を行う
- ・規則正しい生活を送る

感染性胃腸炎は、急激な吐き気、嘔吐（吐く）、下痢などの症状がみられます。感染性胃腸炎と診断された場合は、**出席停止**となりますので、学校へ連絡してください。

※これからの季節はインフルエンザが流行する時季でもあります。

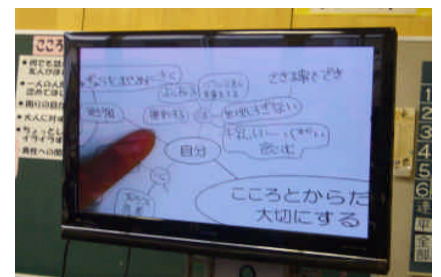
予防方法は感染性胃腸炎と同じですので、きちんと行い、自分の健康を自分で守る努力をしましょう。

※感染性胃腸炎についての詳しい内容については給食だよりにも記載してあります。家の人にも見せ、確認しておきましょう。

1年生 性に関する教育

11月29日（月）、「思春期のころとからだ」と題して、担任の先生と養護教諭で性に関する教育を行いました。

授業では、自分たちは思春期にあたることを確認し、思春期には自立に向けて「ころ」も「からだ」も成長するということを学習しました。その後、ころとからだを大切にするために、思春期をどのように過ごせばよいかマインドマップを用いて考えてもらいました。はじめはどのように書いたらよいかわからなかった生徒も、だんだん考えていくうちにたくさんのことを書いていました。それぞれの生徒が自分や友人、家族のころとからだを大切にするために、自分ができること、やっていこうと思うことを考えることができたと思います。今後は授業で考えたことを実行に移し、思春期を大切に過ごして行って欲しいと思っています。



【授業後の感想より一部紹介】

- ・色々なことを考えられてうれしかったです。友達のことや自分のことが考えられました。
- ・思春期になるところとからだがかじかじかに変化するのが、この授業で分かりました。今、思い出してみるとちょっとしたことでイライラしたりすることが多くなった。授業で自立に向けて成長する時期とってたので今の時期を大切にしたいです。
- ・「ころとからだを大切にすること」は、具体的にさまざまなことがあって、全部つながっていると思いました。どんなことでも、「自分を大切にすること」が大事だと思いました。

12月1日 世界エイズデー



2010年のテーマ： 続けよう ～Keep the promise, Keep your life～

エイズ/HIV についての基本情報

エイズ (AIDS) は、HIV の感染により起こる病気です。それぞれ、以下の単語の頭文字をとって、エイズ、HIV と呼ばれています。

■HIV = Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス)

■AIDS = Acquired Immuno Deficiency Syndrome (後天性免疫不全症候群)

私たちの体には「免疫」という仕組み（ウイルスや細菌、カビなどから体を守るための仕組み）がありますが、HIV は、この仕組みの中心的な役割を果たす「CD4 リンパ球」に感染し、これを破壊します。これにより、日常では何ともない弱いウイルスや細菌、カビなどから体を守ることが出来なくなって、^{ひよりみ}日和見感染症（エイズ発症のサイン）が現れます。この状態を「エイズ」と呼んでいるのです。

HIVが感染するルート

性感染・・・性行為によるもの

母子感染・・・妊娠、出産時による出血、母乳によるもの

血液感染・・・血液を介したもの

1日4人以上の人が…



エイズは私たちに関係のないことなのでしょうか？決してそうではないと思います。

エイズと聞くとすごく遠くの国の話で、自分とは遠い存在のもののように感じてしまいがちですが、実際に日本国内において感染者・患者はいますし、新潟県にもいます。昨年の数値をみると、日本では、1日約4人以上の人が、HIV に感染もしくはエイズを発症している計算になります。

私たちにできることってなんだろう…

2010年のテーマは【続けよう ～Keep the promise, Keep your life～】。私たちができること、「続けられる」ことってなんでしょう？エイズについて関心を持ち続けること、予防方法を学び、自分が感染しないように予防し続けることはできるのではないのでしょうか。

世界エイズデーってなに??

世界保健機関 (WHO) は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day” (世界エイズデー) と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。日本でも、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識などについての啓発活動を推進していて、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されています。

自分にできること、考えてみましょう。わからないことがあれば保健室へどうぞ。

